

いきいき
まえばし人



県書道展で最高賞

松村 くに子さん・59歳
柏倉町

かなの美しさに親しんで

第60回記念県書道展覧会で、最高賞の山崎種二記念特別賞を受賞。

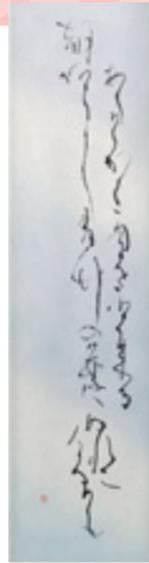
「思いもなかった受賞で、びっくりしています。大変うれしいです」

かな書道との出会いは高校の時。結婚後、15年間書道から遠ざかって

いたが、高校の書道部の恩師・故下谷東雲先生からの手紙により再開。その後、下谷洋子先生に師事し、親子2代にわたり指導を受けている。

「今思えば、ここまで続けられたのも恩師や書道との深い縁があったからだと思います」

作品は、縦175センチ、横50センチの大きさ。左に余白を多く取り、落款で



左を押さえた。常に余白を生かせるように意識して仕上げる。審査員からは連綿による行の流れと余白の豊かさやうまく響き合っていると評価された。

「書道は古典を勉強し、自分の文字にしています」

毎日のように筆を握り、仕事の休みの日は昼から夜まで練習すること

も。また、地元で書道教室を開催。若い人にかな書道の美しさを理解してもらい、長く書道が続けてもらいたいと思いつつ指導を続けている。

「書道は生きがい。楽しみでもあり、悲しいときは支えてくれました」

今は、近所に住む孫と遊ぶことも楽しみと静かに語る。これからも流れるような美しい作品を残してもらいたい。



開館記念イベントで朗読会

中央公民館が前橋プラザ元気21にオープンして2周年。これを記念して、12月19日に同館で「物語と詩でつづる千年の恋」をテーマに源氏物語の朗読会を開催。集まった大勢の人たちは、王朝物語の世界を堪能しました。

正月の寄せ植え華やかに



12月20日、敷島公園ばら園で「お正月の寄せ植え教室」を実施。20人が寄せ植え作りに挑戦しました。参加者は、出来上がった華やかな飾り付けに大満足。早くも、正月気分が盛り上がっていました。

たすきリレーで優勝目指す

12月13日、前橋総合運動公園で市内駅伝競走大会を開催。小学校・中学校・高校・一般の部に分け、それぞれ5人がたすきをつなぎました。選手たちは大きな声援を受けながら、冬空の下をさっそうと駆け抜けました。



クローズアップ



親子協力しロボット作り

12月12日・13日、児童文化センターで「親子でチャレンジ！ロボットスクール」を開催しました。親子が協力してパソコンで制御する車型ロボット作りに挑戦。テストコースを走らせて、前進やターンなどの動作を確認しながら改良を重ね、完成を目指しました。

いにしえ
万華鏡
その十

問い合わせは 文化財保護課 ☎2331-9531

樹齢1,000年の巨木
国指定天然記念物 横室の大力ヤ

国道17号線の田口町信号を500メートル、大正用水沿いに50メートルほど東進したところにあるのが「横室の大力ヤ」。昭和8年4月13日付で国の天然記念物に指定されました。カヤはイチイ科の常緑針葉樹で、福島県辺りが自生の北限。高級な碁盤や将棋盤、そろばんの玉、船材、風呂おけの材料として珍重されます。また、その実は食用とされ、実から搾る油は高級品とされています。



葉の広がりも豪快

昨年10月に行った調査では、幹の周囲8・43メートル、高さ20・5メートル。指定当初の台帳には幹の周囲7・



圧倒的な大きさを誇る

これは県内に所在するカヤの木では一番の巨木。樹齢は1,000年といわれ、張り出した太い枝を太い鉄の支柱で支えられた姿は、自然の雄大さを感じさせます。一口に1,000年といっても、実際は年輪を数えてみるしか正確な樹齢を知ることができません。よって、樹齢「仙年」といつてもいいのではないのでしょうか。仙年もの長い間、横室の地にたたくずむカヤの古木。これからも私たちに生きる力をもたらし、前橋の発展を静かに見守ってくれることでしょうか。仙年のことほぎを、そして新年のことほぎを共に喜び申し上げます。